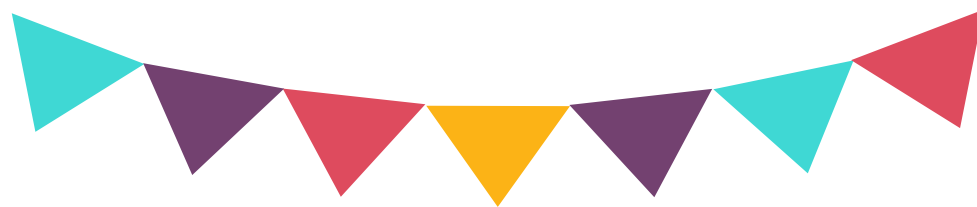
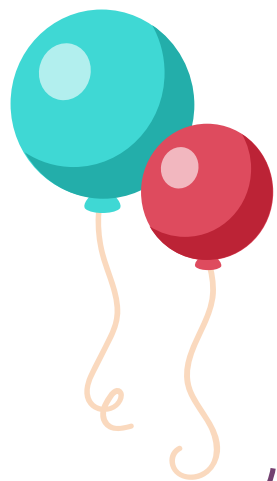


# 小兒看護学領域

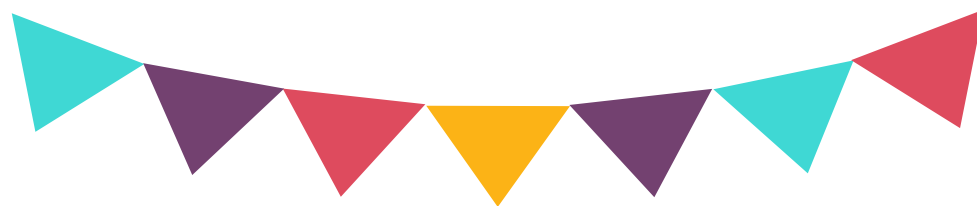
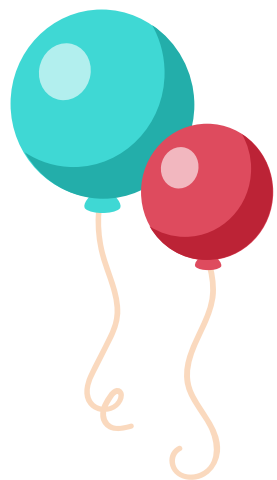




小児看護学領域では、小児看護学概論、  
小児看護学援助論 I・II、小児看護学実習 I・II  
の授業を担当しています。

ここではその内容を少し説明させていただきます♪

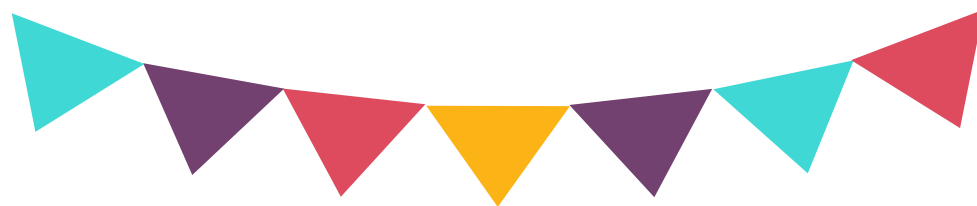
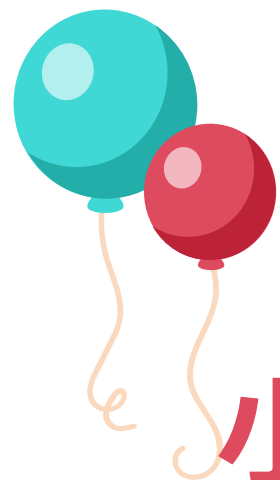




# 小児看護学概論

小児看護の学習の一步として、1年後期に開講されています。  
この科目では、小児看護の理念や目標、子供の身体的、  
心理的な成長と発達について学んでいきます。  
自分の子供時代を振り返りつつ、“子供”を理解することが大切になっ  
てきます。

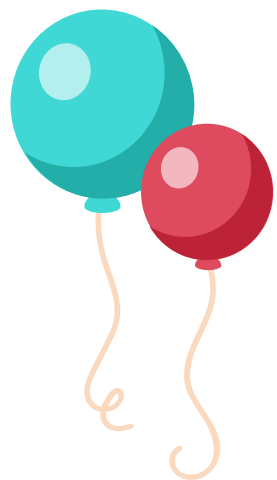




# 小児看護学援助論 I・II

2年生になると小児看護学概論を踏まえて、より専門的に学んでいきます。子供を取り巻く社会の動きや、子供に関わる看護者として具体的な支援方法を学びます。粉ミルクや離乳食を使用した演習なども行いながら子供の理解と支援方法を深めていきます。

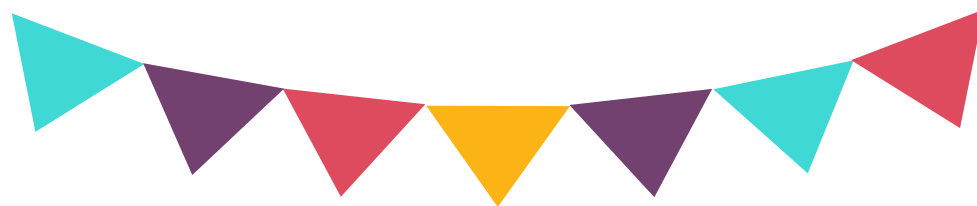
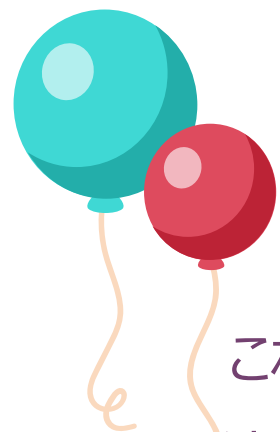




# 小児看護学実習 I・II

総合病院や保育施設での実習で、健康障害を持つ子供や家族の看護を経験的に学習します。病院実習では、これまでの学習の総括として実際に子供や家族とかかわり、医療スタッフの中での看護師の役割や自分に不足しているものを再確認することで学びを深めていきます。保育施設実習では、さまざまな年齢の子供との関わりを通して、子供の発達段階について理解を深め、健康に成長・発達していくための看護師の役割を学びます。





これらの授業や実習では健康障害をもつ子供や家族だけではなく、健康な子供たちにも予防的にかかわり、子供たちが地域社会で心身ともに健康に成長・発達していけるような支援を学んでいます。

自分の子供時代を振り返りながら、今、自分が看護師として子供たちにどのような支援ができるのかを、楽しく学んで欲しいと思っています。

